

よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会第6回総会 概要

日 時：令和8年5月12日（火）13:00～14:00

場 所：ザ クラウンパレス高知 3階「花の間」

出席者：よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会構成員91名（うち24名は代理出席）

1 会長（知事）挨拶

2 議事等

（1）以下の審議事項について事務局から説明し、承認をいただいた。

○令和7年度事業報告（案）及び収支決算（案）について

（2）以下の報告事項について、事務局から説明。

○大会ポスター第2弾について

○大会の実施概要について

○「どっぷり高知旅キャンペーン」との連動について

○【映像放映】長崎大会における引継式及び高知大会PRアトラクション等について

3 その他

以下の委員よりご質問・ご報告をいただいた。

（1）川村委員（高知県文化協会会長）

・長崎大会の視察に行った際、会場周辺や駅周辺、繁華街などどれくらい混雑していたか。また、ホテルの混み具合など把握していたら教えてほしい。

⇒（事務局）駅周辺等の混み具合だが、正直、混雑している様子はなかった。また、宿泊については、詳細までは把握できていないが、全国から文化団体の方々がいらっしゃるため、時期によっては概ね埋まっていたのではないかと思われる。

・高知大会では総参加者数100万人を目指すということで、各地域で毎年実施されているような恒例の事業は、駐車場や会場、交通手段等に課題があり、いきなり多くの人に来て対応できない。これからの準備のた

め、長崎県での地域への人の流れが分かれば教えてほしい。

⇒（事務局）長崎大会の総参加者数は220万人以上と聞いている。先催県のアンケート等から推計すると、参加者の1～2割が県外の方とのことで、高知大会の目標値100万人で考えると10万人程度が県外からいらっしゃると思込まれる。43日間で10万人と大変多くの方がいらっしゃると思込まれるため、事業報告の中でもご説明したが、トラベルセンターを開設しているため、そのような手段も活用しながら、地域の文化団体及び市町村とも連携しながら取り組んでいきたい。

- ・大会の開催により、各地域への経済効果はあると思われる。また、商工会や地域交通関係者にも影響があると思っており、実行委員以外にも関係することである。実際に大会が始まって「今年は非常に人が多い」となってきたからでは遅いため、我々実行委員が大会をPR、注意喚起をしていく必要がある。岐阜大会では、参加者数200万人を超えていたが、無事に終えた事実があるため、高知大会もバスや列車が混雑してしまうことはないかと思っているが、どのように思っているのか。

⇒（事務局）どっぷり高知旅キャンペーンとも連動し、県外からも多くの方々に県内各地まで行っていただきたいと思っている。地域に多くの方々が来た際に問題がないよう、各地域のJRを含む交通事業者の方々と連携していきたい。

- ・大会事業については、原則入場料無料と聞いたが、間違いはないか。
⇒（事務局）全ての事業の把握はできていないが、基本的には無料だと考えるが、県外からプロを招くようなイベントは有料ではないかと思料。そういったイベントは、応募制での抽選のような形になると思われる。

※川村委員のご質問に対し、会議終了後、長崎県に聞き取りを行い、その上で、県の考え、取組を別紙にまとめましたのでご参照ください。

(2) 高野委員（高知県高等学校文化連盟会長）

- ・若者に文化に関心を持ってほしいというコンセプトで進めていただいており、非常に嬉しく思う。

- ・大会期間中には、高等学校の文化祭を各校で開催するようにしている。日頃から県民の皆さまには高校生の文化活動に興味を持っていただき観覧に来ていただいているが、是非ともこの機会に、県内外の方に高校生の作品に触れていただいて、高校生が文化芸術に一層励むことができるよう、スポットライトを当てていただけたらと思う。

(3) 桑名委員（高知県市長会会長、高知市長）

- ・現在高知市では、文化交流事業 18 事業、地域文化発信事業 23 事業を予定している。先般も会議を行ったが、それぞれ順調に準備が進んでいる。
- ・若者に大いに参加してもらおうという観点から、小学生たちが気軽に参加できるイベントや、街の賑わいを作っていきたいと考えており、現在計画中である。
- ・折角多くの皆様方が来られるので、高知市の賑わいも作っていかなければならない。その結果、市町村に広がっていく取り組みを各市町村と連携していきたい。
- ・本日、清水委員（高知県市議会議長会会長）も来ており、大会を盛り上げていこうということで、高知市で作成したポロシャツを着用している。
- ・高知市役所の正面玄関にカウントダウンボードを設置するなど、全庁を挙げて取り組んでいる。引き続き大会成功に向けて取り組んでいきたい。

(4) 藤本委員（高知県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長）

- ・私どもの立場上、よさこい高知文化祭 2026 の開催はありがたい。また、長期間の大会ということと、広域にわたって開催されること、本当にありがたく嬉しく思う。
- ・高知の文化・伝統・食・自然・人情というものを味わっていただいて、リピートしていただきたい。
- ・県内外から来ていただく方々におもてなしの取組も実行していきたい。

4 閉会

大会期間中における受入体制等について

- 大会期間中は、県内外から多くのお客様が各地域のイベントに足を運ぶことが想定される。
- このため、県としては、以下の取組等を実施していくこととしている。

事前案内

◆各イベント会場までのアクセス方法のご案内

- ・公式ガイドブックでのアクセス案内
- ・大会ホームページでの会場までのアクセスマップ表示（Google Map）

◆トラベルセンター（TC）の運営及び観光情報の提供

- ・TCによる個人及び団体への交通手段、宿泊施設等の手配・案内
- ・TCや高知観光情報発信館「とさてらす」、高知県バリアフリー観光相談窓口等による観光情報の提供

移動手段の確保

◆タクシー事業者への車両購入補助

- ・高齢の方、障害のある方等の来高を見据え、事業者が行うUD（ユニバーサルデザイン）タクシー等の購入費用に対して支援（予算額：約1億3,000万円、補助率：2分の1、補助上限：160万円）

※UDタクシー…荷物の多い（大きい）方や、高齢者や障害者、ベビーカー利用者など誰でも利用しやすいように設計されたタクシー（車椅子のまま乗車可）

主催者・関係者等への依頼

◆市町村、県関係課、観光協会及び交通事業者（バス・電車・タクシー・レンタカー会社等）宛ての文書を発出

- ・関係各位において、多客も想定した必要な対策を講じていただくよう、要請、注意喚起（市町村においては、会場のキャパシティ、駐車台数等の事前告知含む）

その他

- ◆多客対策は、各事業の主催者において行っていただくが、想定外の混雑が見込まれる場合は、大会主催者として県が事業主催者と連携、調整を行い、円滑な実施となるよう取り組むものとする。

<参考：長崎大会の状況>※長崎県より聞き取り

- ・県として多客対策は実施していないが、大きなトラブルや問題は発生しなかった。
- ・各事業の主催者において必要な対策を講じていただいたという認識。
- ・トラベルセンターは先催県同様運営。